総務局

1405-7323 71-0				(Plan	】計画	/ [Do】 実	施								•		【Check】 評個	ī / C	Action】改善
施策番号 • 施策名	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	指標名等	事業部 現状値 (基準値)	平価の成果指標 H26年	腰(目標・実績 度 H27年度	1	H29年度	中期目標	→ 成果の 方向性		H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	金額	職人数	H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
I-1- (1)-① (1)事の (1)事。 (1)事の (1)事の (1)事の (1)事。 (1)事の (1)事。 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	ワーク・ライ フ・バランス推 進事業	女活推課	誰も方、を出り、 を選かめました。 を選かめるとは、 を選かめのでは、 を選かめのでは、 を選かめのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	子で立と ※「「も出容 子で立と ※「「も計年 育仕が感 ※「「も出容 子で立と ※「「も計年 育仕が感 ※中元プ6 中とらる 現目発ン) 中とらる 状標進()」 の生れ人 値具!122掲 労活ての 値」!第~明 がったり は は (127掲 動のい割 及よ子2 H 内 といる がくど次1容	27.8% (H20年 は 41.0% 度) ※上気も定調数値 41.0% 度 は、進ランニーよる 数値 41.0年 記発プラに表 記発プラに 記発プランニーよる 41.0% 度 は、進ラ 記発プラン 定調値 (H25年 ご発 ラン 大元 5年 で) コーよる 5年 に よ 2 第 1 計 計 音値 に ここよる 5年 に まから 1 に ここよる 5年 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	達成率 97.1	96	単年度目標	単年度目標	平成20年度 (27.8%) 何 水準より増加 ※上記は、 「元気発う了成 手とでも で目標) にでは で目標)	- 継続	11, 314	10, 519	減額	14, 950	孫長 0.40 職員 1.00	人 順調	生きない。 を大きさい。 を大きをは、りました。 を大きをは、りました。 を大きをは、りました。 を大きをは、りました。 を大きをは、りました。 を大きをは、りました。 を大きででは、のでは、のでは、のでは、のででは、のででは、のででは、のでは、のでは、の	1 順調	誰もが多様な動き方やも豊き が多様を表示を記述の がで実現でままで を主題のがでまるのがで を主題のがすると を主題のがすると を主題を はの、点 を主題を はの、点 を はの、点 の が は の に が り は の が に の が ら の が ら の が ら の ら の ら の ら の ら の ら の

				(Plan	計画	Ī /	′ [D	o】 実施	拖									4		【Check】 評価	i / [Action】改善
施策番号	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業語	平価の	成果指標((目標・実績)			成果の		H29年度		人件	費(目:	安)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
・施策名	主な事業・取組	所管課名	尹未· 以祖似女	指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
	「女性活躍推進	-4-14	性別にかかわらず職員 が能力を発揮し、るる できる活躍できるを実現する が、「女」である。	女性役職者(係長 級以上)比率	15. 6% (H25年 度)	-	単年度目標設定なし		単年度目れなし	票単年度目標なし	20% (H30年 度)						課長	0.10 人		引き続き、制度の周知・沿		
	「女性活躍推進 アクションプラ 2 ン」実施及び育成 職員変費	活躍 推進	クションプラン第2期 計画」(計画期間: H26~30年度)に基づ			率目標	単年度目標 設定なし	単年度目標なし	単年度目析なし	標 単年度目標 なし		継続	3, 709	3, 709	維持	9, 900	係 長	0.50 人	順調	用を通じて、職員のキャリア 形成支援やワーク・ライフ・ バランスの一層の推進を図っ		
	支援事業		き、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの推進に	女性管理職(課長 級以上)比率	12.0% (H25年		12.8 %		0.0		15% (H30年						BAL			ていく。		
			向けた取組みを実施する。		度)	達成率	_	_			度)						韻	0.50 人				
			国における「まな・フレ			目標		単年度目標なし	単年度目れなし	標単年度目標なし							理					
			国における「ま生総合のでは、いいでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	部課長級の多面評価「イクボス10か 条を実践できている管理職の割合	_	実績		88.0 %			90% (H31年 度)						長	0.20 人				
	3 ダイバーシティ 推進事業	女性 活躍	 ントやワーク・ライフ・ バランス(働き方改革)			達成率		_				→継続	3, 500	3, 300	減額	11, 050	係	0.50 人	順調	多様化する住民ニーズや行政課題に迅速・的確に対応できる組織を構築するため、多様な属性(性別、年齢、生活		多様化する住民ニーズや行 政課題に迅速・的確に対応し つつ、組織力を向上させるた めには、全ての職員が性別に
II -3-	推進争未	課	を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善な			目標		単年度目標なし	単年度目4 なし	標 単年度目標 なし							K			様な属性(性別、年齢、生活 背景など)の職員が、柔軟な 働き方ができる職場環境整備 を目指す。	i i	関わらず、多様な働き方がで きる職場環境を形成する必要 がある。
(2)-① 政策・方 針決定過 程への男			て、更なる市民サービス	業等取得率	2.5% (H20年 度)	実績		8.8 %			20% (H31年 度)						職員	0.50 人			順調	このため、職員のキャリア 形成支援やワーク・ライフ・ バランスの一層の推進を図る とともに、職場の意識改革に
女共同参 画の推進			の向上を図る。			達成率		_									貝					も引き続き取り組んでいく。 また、男女共同参画社会の 形成を一層推進するため、よ り多くの方(特に若年層)が
			男女共同参画センター・ムーブ及び勤労	用 # 日	62 0%	目標	_	_	_	_	80%						課長	0.30 人				関心を持ち積極的に参加できるようなイベントや講座の開催、広報・啓発活動にも継続
		里女	ター・ムマークリングリック 婦人 できる できる できる できる できる かい できる できる かい	という言葉の認知度	68.9% (H23年 度)	実績 達	_	_			(H30年 度)						IX			事業計画に基づき男女共同 参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、前		して取り組んでいく。
	男女共同参画センター及び勤労 婦人センター管 理運営事業	男女 共同 動進	はじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就			成率目		_		平成23年度 (38.7%)の 水準より減		- 継続	329, 338	329, 051	維持	8, 950	係長	0.40 人	順調	業・キャリアアップ支援、相談などの事業を実施する。 講座等の実施に当っては、		
	理 連呂争未	課	はしめ大共のでは、地域参与では、地域参与では、地域参与では、地域参与では、地域参与では、地域参与では、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大大学には、大学には、	性別による固定的 役割分担意識に肯	38.7% (H23年	標実績			_	水準より減少	平成23年度 (38.7%)の水 準より減少	c c								より多くの参加に結びつくよう、内容等の見直しや、広報・周知方法の工夫を行う。		
			開し、男女共同参画社会の形成を推進する。	定的な人の割合	度)	達成率		_			(H29年度)						韻	0.20 人				
		1	地域における男女共同			目標	_	_	_	_							課長	0. 20 人		- 英年展り田州の名加老粉も	,	
	地域における男 女共同参画推進 5 啓発事業【男女 共同参画版】	男女 共同 参推進	参画の推進で図るした。 の大きで図している。 の大きででは、 のでは、 ででは、	男女共同参画社会 という言葉の認知 度	68.9% (H23年 度)	実績	_	_			80% (H30年 度)	継続	4, 133	3, 710	減額	5, 050	係長	0. 20 人	順調	若年層や男性の参加者数が 増加するよう、講座や講演、 イベントの開催内容や時期、 PR手法等を見直し、改善に		
	啓発事業 】	課	発活動を支援し、男女 共同参画に関する理解 を深める。	12	(文)	達成率	_	_			(又)						職員	0.10 人		向けた取組みを引き続き行う。		

総務局				(Plan)	計画	/ (D	o】 実i	拖									4		【Check】 評価	/ [Action】改善
施策番号	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価	西の成果指標	(目標・実績)			成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件費	遺 (目安)		H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	主な事業・取組	所管課名	尹未・	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度 H	129年度	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減		職位	数	事業評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
			生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークラ	気発進!子どもブラン (H22~H26年度) 坦	ン」策定時の ニーズ調査に よる数値	達	6		ж ; ;	平成20年度 (27.8%)の K準より増加 ※上記は、「元気発プラー アンドでの標) は標(目標)						課 0.3	0 人		誰もが多様な働き方や生き 方を選択でき、活力ある豊か な社会の実現を目指すには、		
	ソーク・フィ 6 フ・バランス##	活躍推進課	イ会のうは、 大学では、 ないでは、	載内容 子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合 ※「現状値」及び「中期日堙」け、「元	41.0% (H25年度) ※上記は、 「元気発進! 子どもブラン				なしが	(41.0%) の K準より増加 (H31年度) ※上記は、 「元気発進!	継続	11, 314	10, 519	減額	14, 950	係長 0.4	0 人	順調	企業の意識改革(働き方の見直し)が重要であるため、事業費全体では減額となっているが、企業へのアドバイザー等派遣など、企業に対する支援について、より重点化した予算編成を行っている。		
			を図る。	気発進!子どもブラン (第2次計画) (H27 ~H31年度)」掲載内 容	画)」策定時のニーズ調査のニーズ調査による数値	成率	_		画	(第2次計 (第2次計 回)」での成 果指標(目 標)						職 1.0	0 人				
				ワーク・ライフ・バラ ンスが取れていると感 じる職員の割合 ※本指標は「北九州市 職員の次世代育成支援 プログラム(H22~H26 年度)」掲載内容	69.4% (H20年 度)	目標 単年度目標 設定なし 実績 違成率	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			_						課 0.2	0 人				誰もが多様な働き方や生き
II-3- (2)-② ワーク・ ライフン事。 (仕)	「女性活躍推進アクションプラ	女性	特定事業主行動計画」 (H27年度より実施予	ワーク・ライフ・バラ ンスが取れていると感 じる職員の割合 ※本指標は「女性活躍 アクションプラン第2 期計画(H26~H30年 度)」掲載内容		目標実績達成率		単年度目標がよっています。	なし	85% (H30年 度)	chir c =	0.700	0.700	<i>6</i> # 1+	11.050	係。		U I = − □	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア	順調	まではいかりにない。 はではいかがない。 では、をしまれるにはのかるにはののがで実現な革である「有いのでである」である「大きでののができません。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
生活の調 和)の推 進	7 ン」実施及び市 職員次世代育成 支援事業	推進課	定)に基づき、各種研修や啓発活動等による職員の意識改革、仕事の見直し・の両立支援等に取り組む。	務等にチャレンジした いと思う職員の割合		目標 実績 達成率	単年度目標なし	単年度目標単なし	なし	75% (H31年 度)	継続	3, 709	3, 709	維持 	11, 050	長 0.5		順調	形成支援やワーク・ライフ・ バランスの一層の推進を図っ ていく。		制度の周知や活用を通じて、多様な働き方を実現することで、更なる市民サービスの向上に向けた取り組みを実施していく。
				男性職員の育児休 業等取得率	2. 5% (H20年 度)	目 10.0 9	8.8 %			20% (H31年 度)						職 0.5	0 Д				
		女性	国における「まち・ひと・ またと創生総合戦略」のの 定と「女性の職業生計にお をる活躍の推進に関すなど、バーシティ を活かすダイバーシャース を活がなる。	部課長級の多面評価「イクボス10か 条を実践できている管理職の割合	_	十 目標 実績 達成率	単年度目標 なし 88.0 %	単年度目標単なし	なし	90% (H31年 度)						課 6.2			多様化する住民ニーズや行 政課題に迅速・的確に対応で きる組織を構築するため、多		
	8 ダイバーシティ 推進事業	沽躍 推進 課	フ・バランス (働き方の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大	男性職員の育児休 業等取得率	2. 5% (H20年 度)	半目標実績達成率	単年度目標 なし 8.8 %	単年度目標 単なし		20% (H31年 度)	継続	3, 500	3, 300	減額	11, 050	係長 0.5		順調	様な属性(性別、年齢、生活背景など)の職員が、柔軟な働き方ができる職場環境整備を目指す。		

総務局

140 971 /PJ			(Plan	】計画	· /	′ 【Do) 実施	包								•			【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策悉早	基本計画の旅笛を構成する。	上車車拳		事業評	呼価の 月	 成果指標(目標・実績)			成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件費	(目安)	H274	年度	H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	H20年度に向けて強化・目直した内容
施策番号 • 施策名	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	E要事業 所管課名 事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	事業費の増減	金額(千円)	職 人数	事評	業価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
Ⅱ-3- (2)-③ 性別人 る 手 後 表 長 根 絶	9 【配偶者等から 参	配偶者や恋人等、親見 財子にある人外を は同い関係に重大な人権を を動きである人人を を動きである。 とを辞される。 とを辞される。 は進い意識ののである。 ない意識でのない。 ないな報でのである。	り 配偶者等との間に 浸 おける「平手で打 が つ」について、暴 、力と認識する人の	55. 2% (H23年 度)	目標実績	_	_	_	_	70.0% (H30年 度)	継続	7, 412	7, 673	維持	5, 050	課 長 0.20 係 長 0.20	人 人 順	調	ロスリーへ、 ロン明談を呼びかける設を呼びかける設を呼びかける設を呼びかけるという。 ロンの配料をといるのととに努めるの果ののはしています。 のはしています。 のはしています。 のではいるとにいるのではいる。 のではいるではいるのでは、 のではいるではいるのでは、 のではいるではいるのでは、 のではいるではいる。 のではいるではいる。 のではいるではいるでは、 のではいるでは、 のでは、	順調	配偶なが認識のN・教会をという。 一般なが認識のN・教会をである。 一般なが認識のののののののののののののののののののののののののののののののののののの
					達成率	_	_									職 0.10	٨		会議の開催などによる情報の共有や交換を行う。		また、今後も、警察などの 関係機関と情報共有・交換を 実施していく。

				(Plan	」 計画	/【Do】 実施	拖										【Check】 評価	/	Action】改善
*****	# # 1 I I O W W # # # F -	7 > ===			事業評	価の成果指標(目標・実績))		成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件	費(目	安)	H27年度	: 1900年度にウルブ発ル 日本した中央	H27年度	
施策番号 • 施策名	No. 基本計画の施策を構成す 主な事業・取組	る 主要事業所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度 H27年度	H28年度 H29年度	中期目標	一方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
	「女性活躍推進 アクションプラ 10 ン」実施及び市 職員次世代育成	女性活躍	性別にかかわらず職員が 能力を発揮し、いきいら と活躍できる職場でくり を実現するため、「女性 活躍推進計会の、「対策期		15.6% (H25年 度)	目 単年度目標 設定なし 単年度目標 なし 実績 16.2 % 16.9 % 達成 ― % ― %		20% (H30年 度)	· · · 継続	3, 709	3, 709	維持	6, 400		0.10 人	順調	引き続き、制度の周知・活 用を通じて、職員のキャリア 形成支援やワーク・ライフ・		
	職員次世代育成支援事業	推進課	コン (1) 画期間: H26~30年度) に基づき、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組みを実施する。	女性管理職 (課長 級以上) 比率	12.0% (H25年 度)	目 単年度目標 設定なし 単年度目標 なし 実 績 12.8 % 13.8 % 連 成 - % - %	なしなし	15% (H30年 度)		3, 709	3, 709	非任 行	0, 400	Rób	0.30 人	川共司内	がランスの一層の推進を図っていく。		
			国国にない、 策とのにおいる はいい はい	部課長級の多面評価「イクボス10か 条を実践できている管理職の割合	_	標 実績 88.0 %	単年度目標なしなし	90% (H31年 度)						課長	0.20 人		多様化する住民ニーズや行		
	がイバーシティ 推進事業	女性 活躍 推進 課				達成率 日標 単年度目標 なし	単年度目標 単年度目標 なし		- 継続	3, 500	3, 300	減額	11, 050	係長	0.50 人	順調	政課題に迅速と的確に対応を 表記組織を構築するため、生活 を を は は は は は は は は は は は は は は は は は		
			でななどの動きをを踏まれている。 の加、テレワー務改要を選集である。 表単位の業務の実まにより 様な働き方の実現により、 簡素でもって、より、員体制をよって、上を図る。	男性職員の育児休 業等取得率	2.5% (H20年 度)	実績 達成率		20% (H31年 度)						職員	0.50 人		を目指す。		多様化する住民ニーズや行政課題に迅速・的確に対応しつつ、組織力を向上させるためには、全な機員が性別に
T 0		女性活躍	同事業では、女性が希望に応じ、職場や家 庭、地域においても、 その個性と能力を十分	女性の就業率(25 ~44歳)	65.9% (H22年 国勢調 査)	標 なし	単年度目標 なし なし	70% (H31年 度)	:					課 長	0.50 人		引き続き、女性活躍に取組 む企業への支援や、女性管理		関わらず、多様な働き方ができる職場環境を形成する必要がある。 このため、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図る
Ⅱ-3- (2)-④ 女性の活 躍推進	12 女性輝き!推進 事業	沽躍 推進 課	に発揮し輝けるよう、 女性活躍の企業への働きかけや管理職研修・ ネットワークの形成、	ダイバーシティ行 動宣言等登録・届	597社 (H26年	車 目標 単年度目標 なし 実績	単年度目標 単年度目標 なし	800社 (H31年	継続	0	17,000	増額			0.60 人		職のスキルアップや企業横断 的なネットワーク化に取組む ほか、女性が創業しやすい環 境づくりに取組む。	順調	とともに、職場の意識改革に も引き続き取り組んでいく。 また、「ウーマンワークカ フェ北九州」を拠点施設とし て、女性の職業生活を一層後
			創業支援などを行う。	出企業(累計)	度)	達成率		度)						員	0.60 人				で、女性の職業主角を一層後 押しできるよう、民間企業等 が中心となり結成する女性創 業者を応援する団体に対し
				ウーマンワークカ フェ北九州の早期 設置	_	目標 早期設置 実績 H28年5月開設 達成本 一		H28年 度中 に開設						課長	0.50 人				で、市が運営費の一部を支援 するほか、企業横断的なネットワークの構築や女性が活躍 できる環境づくりに引き続き 取り組んでいく。
	ウーマンワーク 13 カフェ北九州運 営事業	女性 活躍 推進 課	同事業では、女性の就業・キャリアアストリアストリアで支援する「ウルフトーマルカフェ出などの開設・運営などを行う。	女性の就業率(25 ~44歳)	65. 9% (H22年 国勢調 査)	標 実績 達成 率	単年度目標なしなし	70% (H31年 度)	継続	46, 300	30, 000	減額	16, 250	係長	0.60 人	順調	引き続き、女性の職業生活の拠点となるよう「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、就業支援等の充実を図る。		
				ウーマンワークカ フェ北九州新規利 用者数	_	目標 実績 オーブン前 達成 - %		4, 000人 (H31年 度)						職員	0.60 人				
		u_	女性創業者を応援する			目標	_							課長	0.50 人		平成27年度に実施した「北九州市女性創業支援のあり方検討会」では、女性創業者を輩出し易い時間では、女性創業者を輩出し易い時間では、女性制度を対している。		
	<新> 14 女性創業応援団 事業	女性 活躍 推進 課	回体を氏間企業等が中心となって結成することに伴い、市が団体運営費等の一部を支援するもの。	「(仮称) 北九州 女性創業応援団」 の創設	_	実績		「(仮称) 北九州女性 創業応援 団」の創設	<u></u>	_	15, 000	_	15, 750	係長	1.00 人	_	全体で女性の創業を支える仕組み づくりを行うことが報告された。 ついては、女性創業者を応援する		
	14 女性創業応援団	女性躍進課	女性創業者を応援する 団体を民間企業等が中 心となって結成するこ とに伴い、市が団体運 営費等の一部を支援す るもの。	「(仮称)北九州 女性創業応援団」 の創設	_	事目標		「(仮称) 北九州女性 創業応援 団」の創設	±	_	15, 000	_	15, 750	係長		_	州市女性創業支援のあり方検討会」では、女性創業者を輩出しまい環境づくりのため、企業とによる女性創業の応援団を設立し、する全体で女性の創業を支える什組	易よ市み。るて	易よ市み。るて

			(Plan] 計画	Ī /	′ [Do	o】 実施	拖									4	[Check]	平価 /	【Action】改善
施策番号	No. 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業		事業評	平価の月	 成果指標(目標・実績	i)			成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件費	(目安)	H2	年度 H29年度に向けて強化・見直した	H27年原	度 H29年度に向けて強化・見直した内容
・施策名	主な事業・取組	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	数	1業 (課題に対する改善方法等) 2価	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
		戦後71年が経過 し、悲惨な戦争の記憶 の風化が懸念され、戦 争の記憶を後世に伝え			目標	_	_	_	_							課 1.0	0 Д	戦争の悲惨さや平和の さを市民に伝えるため、 時下の市民の暮らし」を セプトに、市民から寄贈 た資料等を平成16年か 立埋蔵文化財センター内	「戦 コン され う市	
	<新> 15 (仮称)平和資 料館建設事業	ることが重要となっている。改めて、戦争の総務	(仮称) 平和資料 館の建設	_	実績	_	_	_		(仮称)平 和資料館の 建設	_	_	5, 000	_	25, 250	係 1.0	0 人	「戦時資料展示コーナー」 展示している。 一 戦争の記憶の風化が懸れるなか、記憶の継承がまで以上に重要となってり、これまでの展示資料	できれい	戦後71年が経過し、戦争を 知らない世代がほとんどとな る中、悲惨な戦争の記憶が風 化されることへの懸念があ り、本市で起きた戦争の惨禍 や平和の大切さを伝える必要
II-3- (4)-① 平和の尊 さへの理 解の促進		「仮称)平和資料館」の建設に向けた取組みを行う。			達成率	_	_									職 0.5	0 人	え、八幡大空襲を始め本 空襲に関する資料等、展 容の充実を図るため、新 施設の建設に向けた取組 行う。	示内 になる 順調	があることから、新たに
		本市の平和に対する 基本的姿勢を示す「北 九州市非核平和都市宣			目標	_	_	_	_	市民が						課 0.1	0 人	引き続き、平和の願い められた「嘉代子桜・親 桜」の市立特別支援学校:	}	の小中高生の派遣、親子で平 和の尊さを考えるための「長 崎市平和派遣」の実施等に取 り組む。
	16 非核·平和推進 事業	戦争の記憶を風化させ	市民が平和の尊さ を理解し、共有し ていくこと	_	実績	_	_			和さ解こと	継続	10, 000	10, 000	維持	6, 400	係 長 0.3	0 人 川	の植樹、長崎市が主催す の植樹、長崎市が主催す 「青少年ピースフォーラ への小中高校生の派遣、 で平和の尊さを考えるた。	る ム」 現子	り祖仏。
		ることなく次の世代に 伝えるため、事業を実 施するもの。			達成率	_	_			<i>⊕</i> ∟ ∟						職 0.3	0 Д	「長崎市平和派遣」の実施の現代である。	直等	
		「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」という。)」の成立により、個			目標		庁内連携テストに向け てシステム 改修の完了	テストの	システムの 安定運用							課 0.3	0 Д			
	社会保障・税番 号制度対応事業 (情報政策課所 管分)	情報 政策 情報 政策 情報 政策 法に基づき付番及び通号の利用がれた。 地方直治体でははこの対策 はに対する はに対する では民に対する の番する はに対する のも、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の番号の が、の のでは はに対する が、の番号の が、の のでは のでは のでは のでは のの番号の が、の番号の のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは ので	個人番号を用いた 他機関との情報連 携	情報 スの は 平度 (年度)	実績		庁内連携テストに向け てシステム 改修の完了			システム の安定運 用 (平成29 年度)	継続	70, 000	77, 700	増額	28, 450	係 長 1.0	0 人 川	平成29年度7月の情報通開始に向けて、着実にテ を実施していく。また、 連携の開始後は引き続き システムの安定運用に努い	スト 青報 青報	平成29年7月の社会保障・
Ⅲ-1- (3)-④		政機関との情報連携(平成 29年7月開始)などを行わ なければなひいため、関 係する業務及び情報システ ムの対応を行う。			達成率		_									職 2.0	0 人			税番号制度における他行政機関との情報連携開始に向け、 着実にテストを実施し、システムの安定運用に努めていく。 また、GIS搭載情報につ
高度情報 社会への 対応		庁内の各所管課が個			目標	安定運用	安定運用	安定運用	安定運用							課 0.2	0 人		順調	いては、庁内向けGIS、地域情報ポータルサイトとともに主題図数を伸ばしていることから、データ更新や災害時
		テム)を集約することで、庁内全体のGIS	全庁GISの安定 運用	安定稼動 (平成26年 度)	小貝	障害無し	障害無し			継続的なシス テム安定稼動						IX		+ 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1		対応業務等を行うGISセンターの体制を見直す必要があり、臨時職員による対応を検討する。
	全庁GIS(統 18 合型GIS)構 築運用事業	運用経費を削減すると 情報 ともに、庁内で情報を 共有することにより、 共務の効率化・高度化			達成率	 庁内向けGIS:	<u>-</u> 庁内向けGIS:	庁内向けGIS:	庁内向けGIS:		- 継続	27, 612	27, 488	維持	16, 050	係 長 0.4	0 人 川	庁内向けGIS、地域情報ポータルサイトとともに 図数を伸ばしていること ら、データ更新や災害時	主題 か 対応	טי ענמ אינם
	本性川ず木	を図る。 また、共有したGI S情報のうち、公開可能なものは積極的に市	全庁GISに塔載	庁内向け G I S:60 地域情報 ポータル	標	50 地域情報ポータ ルサイト:50 庁内向けGIS:	70 地域情報ポータ ルサイト: 150	80 地域情報ポータ ルサイト: 200	100 地域情報ポータルサイト:300	」平成29年度 庁内向けGIS 主題図数:								業務等を行うGISセンター体制を見直す必要がある。	0	
		民に公開することにより、市民サービスの向上を図る。	する主題図数	ポータル サイト:98 (平成26年 度)	8 模		97 地域情報ポータ ルサイト: 257			100 地域情報ポー タル向け 主題図:300						職 1.3	0 人			
				(平成26年	-	120 196	120			ダル问け 主題図:300						啊 1.3	0 人			

総務局																					
				(Plan	計画	/ [[Do】 実i	拖											[Check]	価	【Action】改善
施策番号 No.	基本計画の施策を構成する	主要事業	事業・取組概要		事業評	西の成果指標	(目標・実績	į)			成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件	費(目	安)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した	H27年	H29年度に向けて強化・見直した内容
・施策名 ****	主な事業・取組	所管課名	学 未"	指標名等	現状値 (基準値)	H26年月	度 H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施领 評価	衰 (課題に対する改善方法等)
ш-3-			本市の自治の基本的 ルールを定めた「北九 州市自治基本条例」 (平成22年10月1日施			目	_	_	_							課長	0.10 人				
(3)-① 市民参画 と協働の 19 ための仕 組みづく	北九州市自治基 本条例推進事業	総務課	行)の意義や理念など を多くの市民に理解してもらうため、周知等 を行う。また、情報共 有や住民参画の視点か	(市民自治)の確	_	実 _	_			市民自治 の確立	継続	2, 374	1, 694	減額	4, 650	係長	0.20 人	順調	引き続き、市民向けのり活動や職員に対する研修等 実施する。また、条例の 度が低い若い世代への周の 図るため、大学等への出す 演などに取組む。	手を 図知 順調 ロを	市民が主役の自治(市民自治)の確立に向け、自治基本条例に対する理解を深め、市民の市政への参画を推進していくため、今後も条例の周知活動を継続実施していく。
9			ら業務を行い、条例の 目指すまちづくりがで きるよう、職員向けの 研修を行う。			達 成 一 率	_									職員	0.20 人				
				子育て中の労働者 で仕事と生活の両 立が図られている と感じる人の割合	27.8% (H20年度)	目 前年度 (28.2% 供 比增加)			平成20年度 (27.8%)の						課長	0.30 人				
			誰もが多様な働き方や 生き方を選択でき、活 力ある豊かな社会を実	※「現状値」及び 「中期目標」は、 「元気発進!子ど	※上記は、 「元気発進! 子どもプラン」 ン」 ス で お で で で の こ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	実 27.4	%	_		水準より増加 ※上記は、 「元気発プリス ・アどものでの標) ・お標(目標)									誰もが多様な働き方や	-	54 1 S
Ⅲ-3- (3)-③ 企業の地 は活動な 20	ワーク・ライ フ・バランス推	女性 活躍 推進	現するため、「北九州 市女性活躍・ワークラ イフバランス推進協議 会」を中心に、企業等 の取組み支援などを行	もプラン(H22~ H26年度)」掲載内 容		達成 97.1	%]	継続	11, 314	10, 519	減額	14, 950	係	0.40 人	順調	方を選択できる。 な社会の実現を目指すに 企業の意識改革(働き方の 直し)が重要であるため、 業費全体では減額となっ	きか │ は、)見 │ 事 │ 「順部	誰もが多様な働き方や生き 方を選択でき、活力ある豊か な社会の実現を目指すには、 企業の意識改革が重要である ことから、企業に対する「働
域活動へ 20 の参画促 進	進事業	課	うとともに、企業や地 域での様々な活動と連 携しながら仕事と生活 の調和(ワーク・ライ	仕事と生活の両立か 図られていると感じ	41. 0% (H25年度)	目標	単年度目標なし	: 単年度目標 なし	単年度目標なし	平成25年度 (41.0%) の 水準より増加						IX			素質室体では減額となっるが、企業へのアドバイ等派遣など、企業に対す 接について、より重点化予算編成を行っている。	デー 支	き方の見直し」への支援(企業へのアドバイザー派遣やイクボスセミナーの開催など)を継続して推進していく。
			フ・バランス)の推進 を図る。	※「現状値」及び 「中期目標」は、 「元気発進!子ども	※上記は、 「元気発進! 子どもプラン (第2次計画)」策定時 のニーズ調	実績	48.0 %			(H31年度) ※上記は、 「元気発進! 子どもプラン (第2次計 画)」での成						職員	1.00 人				
				プラン(第2次計画)(H27~H31年度)」掲載内容	による数値	達成率	_			果指標(目標)						貝					

					(Plan	】計画	/ [Do]	実施	į											【Check】 評価		(Action) 改善
施笨悉早		其太計画の旅策を構成する	于亜重業			事業評	西の成果指標 (目標	票・実績)				成果の	H28年度	H29年度	事業費	人件:	費(目	安)	H27年度	H29年度に向けて強化・見直した内容	H27年度	F H29年度に向けて強化・見直した内容
施策番号 ・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H26年度 H	127年度	H28年度	H29年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	(課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
	21	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女 共同	男女共同参画センター・ ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・ やはた)において、施設 の運営をはじめ、地域に 根ざした男女共同参画推 進、女性リーダー育成、	男女共同参画社会 という言葉の認知 度	68. 9% (H23年 度)	目標 — 実績 — %	_ _ _ %	_	-	80% (H30年 度)	→ 継続	320 338	329, 051	維持	8, 950	IX	0.30 人	順調	事業計画に基づき男女共同 参画社会の形成の推進に向け たイベントや講座の開催、就 業・キャリアアップ支援、相 談などの事業を実施する。		
	21	婦人センター管 理運営事業	14年14年	就職・キャリアは 「はない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。」 「ない。 「。 「。 「。 「。 「。 「。 「。 「。 「。 「	性別による固定的 役割分担意識に肯 定的な人の割合	38. 7% (H23年 度)	実績 達成 一	_ _ _	— d	平成23年度 (38.7%) D水準より減 少	平成23年度 (38.7%)の水 準より減少 (H29年度)		020, 000	020, 001	WE 141	0, 000	Déb	0.20 人	川块 印列	講座等の実施に当っては、 より多くの参加に結びつくよう、内容等の見直しや、広報・周知方法の工夫を行う。		
			女性	同事業では、女性が希望に応じ、職場や家庭、地域においても、	女性の就業率 (25 ~44歳)	国勢調	目標 実績 達t	年度目標 なし 一	単年度目標なし	単年度目標なし	70% (H31年 度)						課長	0.50 人		引き続き、女性活躍に取組 む企業への支援や、女性管理		
	22	女性輝き!推進 事業	活躍 推進 課	その個性と能力を十分 に発揮し輝けるよう、 女性活躍の企業への働きかけや管理職研修・ ネットワークの形成、	ダイバーシティ行 動宣言等登録・届	597社 (H26年	標	年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	800社 (H31年	継続	0	17, 000	増額	16, 250	長	0.60 人	順調	職のスキルアップや企業横断 的なネットワーク化に取組む ほか、女性が創業しやすい環 境づくりに取組む。		女性の就業率(25歳~44歳)のM字型カーブの解消、女性の創業や女性が働きやす
IV-3- (2)-(2)				創業支援などを行う。	出企業(累計)	度)	達成率	697 社			度)						職員	0.60 人				い仕事面での環境づくりに向け、各種支援に取り組む必要がある。 このため、男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベ
(2)-② 女性がる 躍業都り の 進				同事業では、女性の就	ウーマンワークカ フェ北九州の早期 設置	_	集 績 達成率	28年5月開設 —			H28年 度中 に開設						課 長	0.50 人			順調	ントや講座の開催、「ウーマ ンワークカフェ北九州」を中 心として、女性の職業生活を 一層後押しできるよう、よす 企業等が中心となり結成する 女性創業者を応援する団体に
	23	ウーマンワーク カフェ北九州運 営事業	女性 活躍 推進 課	業・キャリアアストープ・ 創業などをワンストーフ プで支援する「ウーマ ンワークカフェ北九 州」の開設・運営など を行う。	女性の就業率(25 〜44歳)	査)	目標 実績 達成率	年度目標「「なし」	単年度目標 単なし	単年度目標なし	70% (H31年 度)	継続	46, 300	30, 000	減額	16, 250	係長	0.60 人	順調	引き続き、女性の職業生活の拠点となるよう「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、就業支援等の充実を図る。		対して、市が運営費の一部を 支援するほか、企業横断的な ネットワークの構築など、女 性が活躍できる環境づくりに 引き続き取り組んでいく。
					ウーマンワークカ フェ北九州新規利 用者数	_	目標実績達成率	_ 一プン前 	2,500 人	3,300 人	4, 000人 (H31年 度)						職員	0.60 人				
				女性創業者を応援する			目標			1							課長	0.50 人		平成27年度に実施した「北 九州市女性創業支援のあり方検 討会」では、女性創業者を輩出 し易い環境づくりのため、企業		
	24	<新> 女性創業応援団 事業	女性 活躍 推進 課	女性創業者を応援する 団体を民間企業等の 心となって結成団団体 とに伴い、市が団体 営費等の一部を支援 るもの。	「(仮称) 北九州 女性創業応援団」 の創設	_	実績				「(仮称) 北九州女性 創業応援 団」の創設	_	_	15, 000	_	15, 750	係長	1.00 人	_	等による女性創業の応援団を設立し、市全体で女性の創業を支える仕組みづくりを行うことが報告された。ついては、女性創業者を応援する団体を民間企業		
				ବ୍ୟ ପ			達成率										職員	0.00 人		等が中心となって結成すること に伴い、市が団体運営費等の一部を支援するもの。		
VII-1- (3)-③ 社会制度		(小肚) マジマ	男女	「国際的な最新情報の収 事・発信」「成果の地域還 元」「フェイスtoフェイス の国際交流」「あらゆる分 野での女性のエンパワーメ	田女井同会両社会	69 00/	標 —	_	_	_	90 0/						誤長	0.20 人		アジア女性会議や市民向け		類似施設等との役割分担及び事業内容の見直しなどにより、効率的に男女共同社会の 形成の推進に向けた取り組み
社などの関係は対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対		(公財) アジア 女性交流・研究 フォーラム事業	共同 参進 課	野での女性のエンパワーメント」「次世代育成」「情報提供の充実」を目指し、様々な事業を実施する、(公財)アジア女性交流・研	男女共同変画社会 という言葉の認知 度	68.9% (H23年 度)	実	_			80% (H30年 度)	継続	65, 974	55, 000	減額	4, 050	係 長	0.10 人	順調	の研究報告会、セミナーの開催などを通じて、男女共同参画に関する意識の醸成に努める。	順調	形成の推進に向けた取り組み を実施していく。 また、市民向けの研究報告 会、セミナー等の開催を通じ て、男女共同参画に関する意
推進				究フォーラムの活動を支援 する。			達	-									職員	0.10 人				て、男女共同参画に関する意識の醸成を図っていく。